

目次

． 統括研究報告書	
肝癌発症リスク予測システムに基づいた慢性C型肝炎に対する 個別化医療の導入及びゲノム創薬への取り組み-----	1
(東京大学医科学研究所、シーケンス技術開発分野 松田 浩一) (資料) 別紙1 研究体制図	
． 分担研究報告	
1. 発癌リスクの解析、MICAを用いた癌治療薬開発に向けた検討-----	9
(東京大学医科学研究所、ゲノムシーケンス解析分野 谷川 千津)	
2. 血清・DNAの採取、臨床情報の収集・管理-----	13
(東京大学医科学研究所、疾患 ユニット 加藤 直也)	
3. 個別化医療の実施、血清・DNAの採取、臨床情報の収集・管理-----	16
(東京大学医学部附属病院・消化器内科学 小池 和彦)	
4. 臨床情報の収集・整理、発癌関連因子の検討-----	19
(国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 溝上 雅史)	
5. 発癌関連因子の検討-----	22
(東京大学大学院医学系研究科、人類遺伝学 徳永 勝士)	
6. 発癌予測システムの構築、統計解析全般-----	25
(理化学研究所ゲノム医科学研究センター 高橋 篤)	
． 研究成果の刊行に関する一覧表-----	27
． 研究成果の刊行物、別刷-----	37